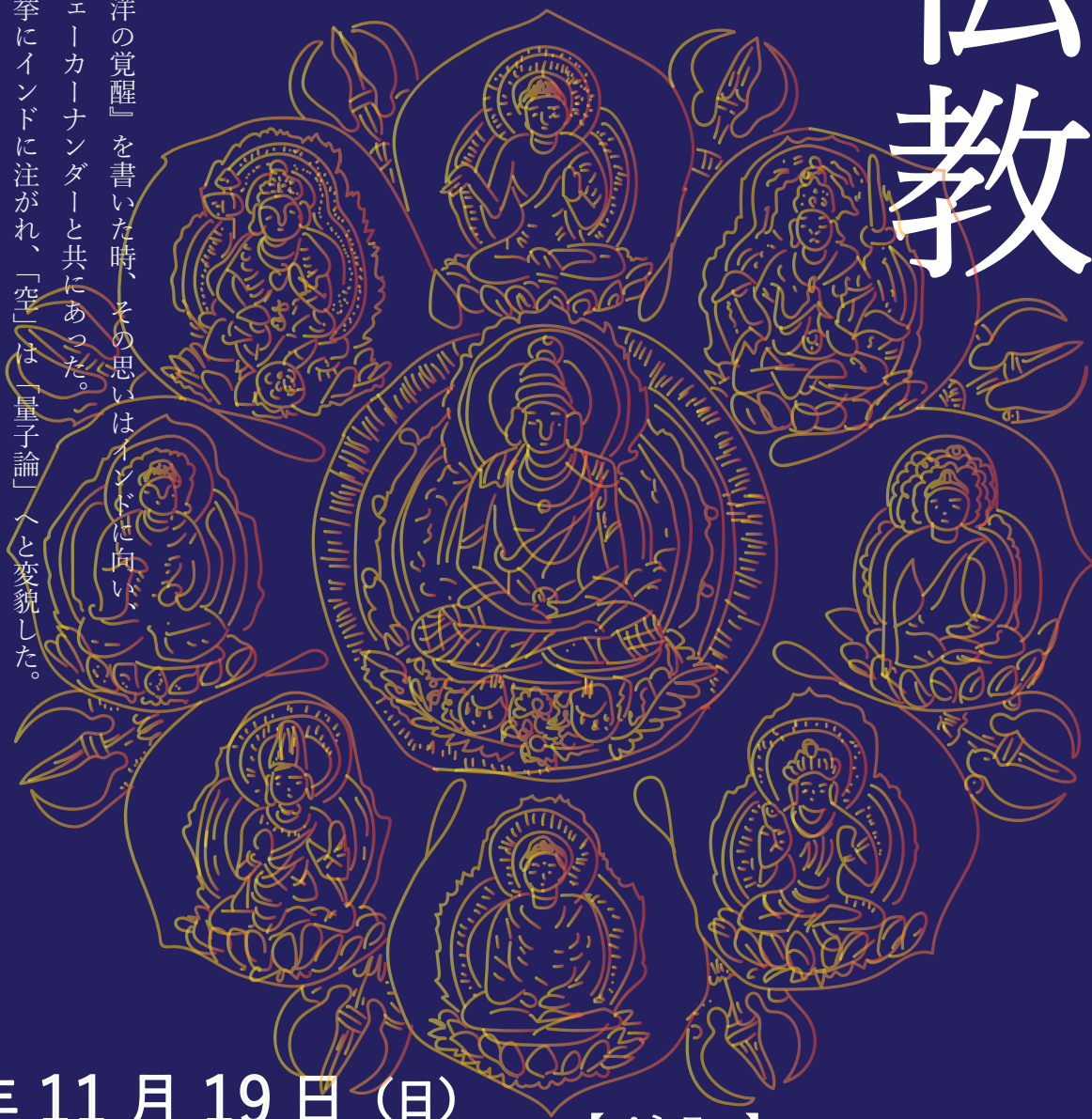


仏教



岡倉天心が『東洋の覚醒』を書いた時、その思いはインドに向いた。タゴールやヴェーヴェーカーナンダーと共にあった。

世界の視線は一举にインドに注がれ、「空」は「量子論」へと変貌した。

しかし、長く仏教国として生きながら、我々日本人は、仏教の何たるか、そもそもなぜこの国は仏教国として生きてきたのかをあまり問わない。

それを思想史の立場から、仏教学の立場から、問うてみたい。

そしてなぜ現代科学は仏教に関心を抱くのかも、考えてみたい。

2023年11月19日(日)

時間：14時～16時30分(予定)

場所：奈良女子大学 N101

(文学部N棟1階)

申込み不要・参加費無料

〈主催〉 奈良女子大学STEAM・融合教育開発機構
けいはんな歴史文化共同研究所

〈問合せ先〉 奈良女けいはんな
narajo.keihanna@gmail.com

※You Tube「奈良女子大学けいはんな公開講座」チャンネルにてライブ配信
https://www.youtube.com/channel/UCt41KA5UMak2i6_L4BTLIHA
11月26日(日)18時まで、アーカイブ視聴可能

【パネラー】

佐藤弘夫(東北大学 名誉教授)

「大乘仏教の現代的意義 〈主体性の哲学〉
と〈関係性の哲学〉」

齊藤恵美(奈良女子大学 特任助教)

「伝統的部派仏教から大乘仏教へ」

【コメンテーター】

西谷地晴美(奈良女子大学 教授)

村上麻佑子(奈良女子大学 准教授)